

第1回あべのタスカルにおける防災体験学習プログラム及び
施設体験価値向上に関する検討会議の開催結果について（議事要旨）

- 1 開催日時 令和7年9月16日（火）9時30分～12時00分
- 2 開催場所 大阪市立阿倍野防災センター「あべのタスカル」防災体験学習エリア内
- 3 会議出席者
 - （1）あべのタスカルにおける防災体験学習プログラム及び施設体験価値向上に関する検討会議メンバー（順不同）
三田村 宗樹 氏、碓田 智子 氏、池内 淳子 氏、沖 祐治 氏
 - （2）事務局（消防局）
予防課地域担当4名
 - （3）指定管理者（一般財団法人 大阪消防振興協会）
藤岡センター長
- 4 議事懇談
 - （1）座長及び座長代理の選出について
 - （2）あべのタスカルの取組み及び今後の予定について
 - （3）指定管理者の自主事業について
 - （4）起震装置更新に伴う代替展示について
 - （5）阿倍野防災センターの更新計画について
- 5 要旨
 - （1）座長を三田村氏、座長代理を碓田氏とする。
 - （2）配付資料に沿って事務局から説明を行い、主な意見については次のとおり。
 - ア コーチングについて、コース体験者との振り返りを重要視して、体験者がステップアップしていけるよう助言していくことが大切。ただし、体験者のレベルや要望等を考慮しながら一方的な助言指導にならないよう注意が必要。
 - イ アンケートの集計方法や取り方を検討（クロス集計等）
 - （3）配付資料に沿って事務局から説明を行い、各メンバーからの意見は次のとおり
 - ア 施設の有料化について、防災に対する関心が向上してきている中で無料の部分も残しつつ、より防災に興味がある人（次の防災の担い手）に対して高度な体験内容や阿倍野防災センターでしか体験できない内容等を有料で実施することを検討するべき。
 - イ 販売グッズについて、収益を上げていくのであれば阿倍野防災センターだけの販売でなく、インターネット販売なども検討する必要がある。また、イメージキャラクターの「たすける」の認知度を上げるため企業とのコラボを検討。

(4) 配付資料に沿って事務局から説明を行い、各メンバーからの意見は次のとおり

今年度行った内容について振り返り、来年度にも代替展示期間があるので、どのように反映するのか検討。

(5) 配付資料に沿って事務局から説明を行い、各メンバーからの意見は次のとおり

災害対応の施設と阿倍野防災センターのように一般の方が来られる施設を同じ場所にするべきではない。利便性や災害対応、コストも考慮し安易に移転を考慮すべきではない。

6 あべのタスカルにおける防災体験学習プログラム及び施設体験価値向上に関する検討会議事録別添のとおり